

授業科目名・形態	コミュニケーション論 講義	必修・選択の別	選択※	単位数	2
科目担当者氏名	黒澤 繭子・石岡 和志	実務経験の有無	有	開講期	1年前期

※看護学科必修

【授業の主題】

医療・保健・福祉専門職にとってコミュニケーションは対象者や家族等、「人との関わり」において大変重要である。また、医療や介護の質を高めるためにも、他職種との連携・協働により、チームでマネジメントすることが求められる。本講義において、人間関係を形成するために必要な心理学的支援及びチームで働くための基礎的知識と方法を学ぶ。

【到達目標】

1. コミュニケーションに関する基礎的な知識を理解できる
2. コミュニケーションに関する基本的な方法を理解できる
3. チームマネジメントに関する基礎的な知識を理解できる

【授業計画・内容】

- 第1回 コミュニケーションとは (石岡)
- 第2回 自己覚知と気づき (他人からみた自分) (石岡)
- 第3回 コミュニケーション・テクニック(1) (石岡)
- 第4回 コミュニケーション・テクニック(2) (石岡)
- 第5回 個人と集団 ～枠組み～ (黒澤)
- 第6回 思い込み (黒澤)
- 第7回 自己概念 (黒澤)
- 第8回 感情表出 (黒澤)
- 第9回 葛藤 ～コンセンサス法の体験～ (黒澤)
- 第10回 交流分析 (黒澤)
- 第11回 インタビュー (黒澤)
- 第12回 チームマネジメントの意義 (石岡)
- 第13回 ケアを展開するためのマネジメント (石岡)
- 第14回 人材育成・自己研鑽のためのマネジメント (石岡)
- 第15回 組織の目標のためのマネジメント (石岡)

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

授業で配布する資料を復習し、理解を深めてください。

【主な関連する科目】

人間関係論、コミュニケーション技術、看護コミュニケーション、カウンセリング

【教科書等】

適宜、資料配布

【参考文献】

中村裕子・野村豊子他：新・介護福祉士養成講座 コミュニケーション技術 [第3版]、中央法規、2016
 諏訪茂樹：コミュニケーション・トレーニング 人と組織を育てる、経団連出版、2012
 星野欣生：人間関係づくりトレーニング、金子書房、2002

【成績評価方法】

筆記試験 90%、授業態度等 10%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院・施設等での臨床経験がある。コミュニケーションの基礎として重要な知識や技術を習得する上で、具体例など交えることで応用できる考え方を促していきたい。

【学生へのメッセージ】

コミュニケーション論は、人間関係論と共に医療・保健・福祉専門職者にとって大切な学問です。私たちが、これから対象とする方は、地域住民・対象者とその家族・高齢者・障害者など、多様なそして複雑な条件が重なり合っているうえに、個別性を重要視しなければならない人々です。学生のみなさんは自身が「どんな人」であるか見つめる機会でもあります。そして授業の内容を通して、対人関係に応用する知識を身につけ活用できるようになり、専門職として活動する力を得て欲しいと思います。